



おいしい鮮魚を日本全国へ

近海生カツオが2月26日、御前崎港に初水揚げされました。水揚げしたのは南駿河湾漁協に所属し、県内で1隻しかない近海カツオ船「第十一福栄丸」。御前崎から南へ約300^{キロ}の漁場で、2月24日から25日にかけて釣った、近海生カツオ3^{トン}とキハダマグロ5^{トン}を運び入れました。粟本漁労長は「脂ものっていて美味しいのでぜひ食してほしい」と話しました。

◀水揚げされたばかりの生カツオ



親子が初期消火で被害軽減

池新田にあるアパートの一室を全焼した火災で、素早い通報と初期消火により被害拡大を食い止めたとして2月27日、消防本部は現場近くに住む山下慎太郎さんと大空さん、大陸さんの父子3人を消防協力者として表彰しました。

慎太郎さんは「消防団の経験が役立ち、冷静に対応することができた」と振り返りました。

◀表彰を受けた山下さん家族



児童がおすすめの本を紹介

白羽小学校の図書委員会が、子ども読書活動推進の一環として「本の紹介カードコンテスト」を開催しました。この取り組みは、友だちに勧めたい本の紹介カードを図書委員会が募集し、児童が投稿した作品の中から選出するというもの。コンテスト入賞作品は3月14日から26日の期間、図書館アスパルの1階児童コーナーに掲示されました。

◀本の紹介カード入賞作品



東日本大震災の記憶を懐古

被災地支援を続けている市民団体「NPO 法人御前崎災害支援ネットワーク」が3月10日、図書館アスパルで写真展を開きました。会場には、東日本大震災の被災状況や被災地でのボランティア活動の写真、約500枚が展示され、写真展に訪れた曾根順子さんは「この展示会は10年の歩みを形にしたもの。災害の記憶を消してはいけないと感じた」と思いを語りました。

◀東日本大震災の被害の大きさが伝わる写真展